

令和6年度第5回鮫川村地域公共交通協議会

日時：令和7年2月26日（水）

15:00～

場所：鮫川村公民館 大集会室

進行：室長

《 次 第 》

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 協 議

報告第1号 令和6年度デマンド交通実証事業について

- ・令和7年1月までの鮫川村デマンド交通実証事業結果について
- ・共創・Maas 実証プロジェクト事業結果について

報告第2号 住民アンケート調査の結果

報告第3号 令和6年度決算予定の報告について（案）

議案第1号 デマンド交通の利用料金について

- ・次の料金態形とする

区分	目的地	
	村内	村外（埜町・棚倉町）
19～69 歳	500円	1,000円
70 歳以上・障がい者・ 6～18 歳	200円	500円
村外住所の利用登録者	変更なし	

議案第2号 デマンド交通の運行形態の変更について

- ・棚倉町への乗入れについて

乗入日	毎週月曜日、火曜日、土曜日
-----	---------------

議案第3号 地域フィーダー系統補助金申請に向けた地域公共交通計画の見直しについて

議案第4号 宝木経由鮫川線について

議案第5号 令和7年度事業計画および予算について（案）

4. その他 次回の協議会開催日
令和7年4月 日（ ） 午後3時～
5. 閉 会

令和6年度 鮫川村地域公共交通協議会委員名簿

	所属	職名	氏名	選出区分
1	鮫川村	副村長	鈴木 大介	鮫川村村長またはその指名する者
2	福島交通株式会社石川営業所	所長	本柳 靖二	一般乗合旅客自動車運送事業者
3	公益社団法人福島県バス協会	専務理事	宍戸 紳一郎	一般旅客自動車運送事業者の組織する団体
4	一般社団法人福島県タクシー協会	県南支部長	鈴木 岳	一般旅客自動車運送事業者の組織する団体
5	東北運輸局福島運輸支局	企画調整部門首席運輸企画専門官	黒田 雅樹	福島運輸支局長またはその指名する者
6	福島県県南地方振興局	県民環境部副部長兼県民生活課長	鈴木 真徳	福島県の行政機関の職員（都道府県）
7	棚倉警察署	地域交通課長	新川 克己	福島県の行政機関の職員（都道府県警察）
8	国土交通省東北地方整備局郡山国道事務所	調査課長	高橋 智巳	福島県の行政機関の職員（道路管理者）
9	福島県棚倉土木事務所	所長	佐藤 和志	福島県の行政機関の職員（道路管理者）
10	私鉄福島交通労働組合棚倉分会	会長	高橋 政廣	一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者
11	鮫川運送㈱	社長	芳賀 篤徳	鮫川村村長またはその指名する者
12	鮫川村商工会	会長	古舘 勝人	鮫川村村長またはその指名する者
13	鮫川村商工会	女性部長	我妻 久美子	鮫川村村長またはその指名する者
14	社会福祉協議会	事務局長	舟木 正博	鮫川村村長またはその指名する者
15	地域包括支援センター	ケアマネジャー	藤元 良子	鮫川村村長またはその指名する者
16	鮫川村区長会	赤坂西野区長	石井 哲	住民または利用者の代表
17	鮫川村老人クラブ連合会	会長	前田 三郎	住民または利用者の代表
18	福島県修明高等学校	校長	阿部 拓広	住民または利用者の代表
19	学校法人石川高等学校	教頭	矢吹 靖弘	住民または利用者の代表
20	社会福祉法人鮫川福祉会鮫川たんぽぽの家	施設長	江尻 勝巳	住民または利用者の代表
21	鮫川村連合PTA	会長	関根 巨樹	住民または利用者の代表
22	鮫川村連合PTA	副会長	澤村 龍太	住民または利用者の代表

オブザーバー

24	総務課	課長	矢吹 かおり
25	住民福祉課	課長	齋藤 利己
26	農林商工課	課長	我妻 正紀
27	地域整備課	課長	鈴木 隆寛
28	教育課	課長	渡邊 敬
29	こどもセンター	副主幹兼事務局長	長久保 仁一

事務局

30	村づくり推進室長	事務局員	船木 博枝
31	村づくり推進室村づくり推進係長	事務局員	矢吹 直美
32	村づくり推進室村づくり推進係主任主事	事務局員	佐藤 雄大
33	村づくり推進室村づくり推進係主事	事務局員	薄葉 楓花

令和7年1月までの鮫川村デマンド交通実証事業結果 及び共創・Maas 実証プロジェクト事業結果について

1 デマンド交通の概要について

(1) 実証運行期間

- ①令和5年11月14日～令和6年3月31日
- ②令和6年4月1日～令和6年8月31日
- ③**令和6年9月1日～令和7年2月28日**（共創モデルにて実証継続）

(2) 運行時間

8時～16時

(3) 運行日

月～土及び企画運行日（運休日：日、祝、12月29日～1月3日）

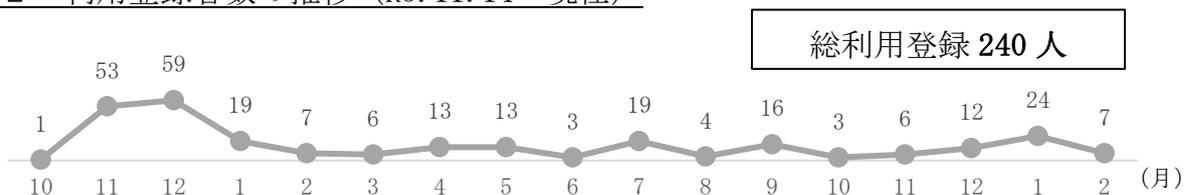
(4) 運行地域

- ・村内全域
- ・塙町の一部（塙厚生病院、磐城塙駅）
- ・**棚倉町の一部（ヨークベニマル棚倉店、磐城棚倉駅）**

(5) 運賃

- ・村内：400円（19～69歳）、200円（6～18歳、70歳以上、障がい者）
- ・村外：1,500円（19～69歳）、800円（6～18歳、70歳以上、障がい者）

2 利用登録者数の推移（R5.11.14～現在）



(1) 総利用登録者数 **240 人**

(2) 状況

- ・年齢別の割合は大きな変化は見られず、村内の **70歳以上が最も多く登録**している。6～18歳や障がい者の登録について村内外問わず、変動は見られない。**村外の19～69歳の登録について、前回より増加している。**

村内		村外	
6～18 歳	2%	6～18 歳	0%
19～69 歳	19%	19～69 歳	4%
70 歳以上	58%	70 歳以上	0%
障がい者	7%	障がい者	9%

3 運行状況及び乗車人数 (R5. 11. 14～R7. 1. 31)

(1) 運行日数：**352 日**

(2) 運休日数：**92 日**

(3) 乗車人数：**668 人**

	利用回数	実利用人数
R5. 11 月	37 回	36 人
12 月	62 回	61 人
R6. 1 月	87 回	80 人
2 月	52 回	30 人
3 月	57 回	33 人
4 月	67 回	39 人
5 月	82 回	45 人
6 月	71 回	39 人

	利用回数	実利用人数
7 月	101 回	58 人
8 月	77 回	49 人
9 月	50 回	31 人
10 月	74 回	40 人
11 月	57 回	35 人
12 月	91 回	51 人
R7. 1 月	69 回	41 人
合計	1,034 回	668 人

(4) 1 日あたりの乗車人数：**約 1.9 人**

(5) 状況

- ・11 月、12 月について、令和 5 年と比較すると**利用回数および実利用人数が増加**している。1 月について回数が約 20 回、人数は約半数の減少が見られる。しかし、1 日あたりの乗車人数はほぼ変わらず、**1 日 2 人程度の利用がある**ことがわかる。月平均の利用回数は**約 70 回**、利用人数は**約 45 人**である。平均の値から、1 人の利用者につき、**往復以上の利用**をしていることがわかる。

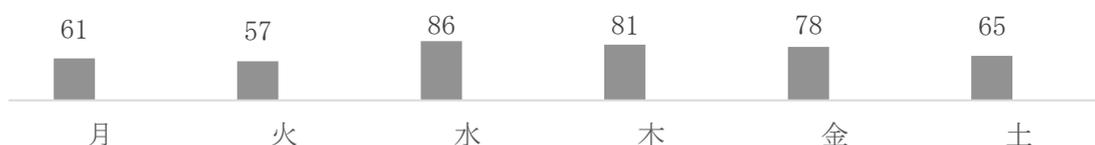
4 利用者の傾向

(1) 利用回数について (R5. 11. 14~R7. 1. 31)



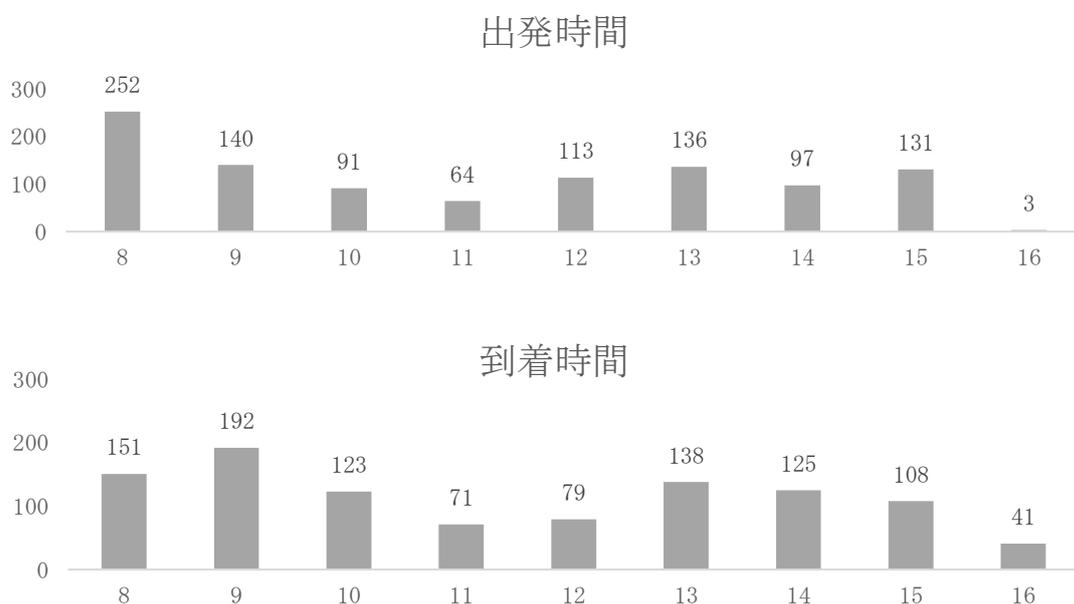
- ・利用登録者 240 人のうち、実利用人数は 114 人となり、利用登録者の **47.5%** が利用したことがある。
- ・利用回数が 1 回（片道のみ）の利用は 5 人であり、実証運行開始時より大きな変動はない。
- ・20 回以上の利用は 12 人であり、**最も多い利用回数は 93 回**。利用目的として多いのは、**埼玉厚生病院への通院**である。

(2) 利用曜日について (R6. 4. 1~R7. 1. 31)



- ・利用が**最も少ないのは火曜日**であり、次いで月曜日、土曜日となっている。月曜日については、祝日が多く、運休であることが多いため、利用人数が少ないことがわかる。
- ・前回まで土曜日について利用が少なかったが、埼玉厚生病院の利用を中心とした**土曜日の利用が少しずつ増加**している。運行を 1 年以上続けてきたことで、土曜日の運行が馴染んできたことが要因として考えられる。
- ・水曜日～金曜日について、安定した利用者数を確保しており、水曜日・木曜日については、運行時に利用者のいない日は **7 日間のみ**であった。

(3) 利用時間帯 (R5. 11. 14~R7. 1. 31)



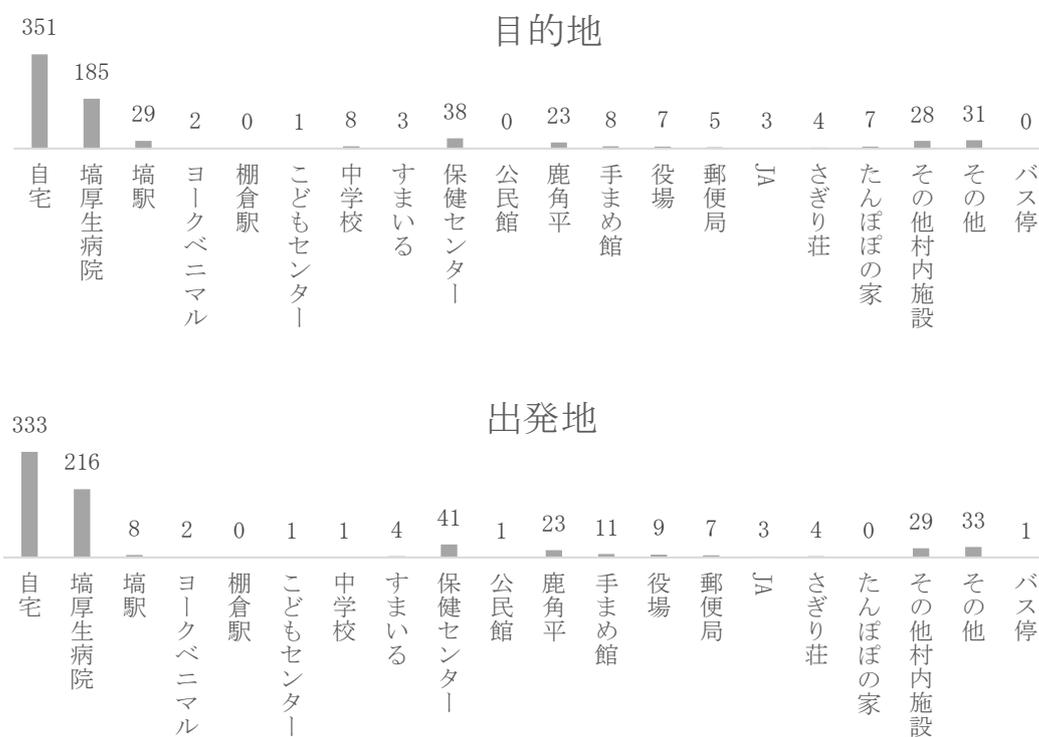
《出発時間》

- ・最も多く利用される時間帯は、**8 時台**であり、主に埴厚生病院の通院に利用されている。また、8 時台の中でも **8 : 20 頃の出発**が最も多く、9 時前に埴厚生病院へ到着することを希望する利用者が多いことが予想される。
- ・その後、**日中は減少傾向**にあり、**13~15 時**にかけ、**利用者が増加**していくことがわかる。

《到着時間》

- ・最も多く利用される時間帯は、**9 時台**であり、8 時台に乗車した方が多いことから増加していることがわかる。特に **8 : 50~9 : 00 の到着**を希望する方が、他の時間帯と比較して多い。
- ・8~9 時、13~14 時の間に利用者が集中しており、**11~12 時の時間帯は利用者が少ない**。

(4) 利用場所について (R6. 4. 1～R7. 1. 31)



- ・主な利用としては**自宅～塙厚生病院**の間の運行が多い。
- ・12月から棚倉町への乗り入れを開始したが、利用については**ヨークベニマルへの利用が2回**にとどまっている。磐城棚倉駅への利用はないため、駅からの移動手段について情報発信を行い、利用者を確保していきたい。
- ・今回の実績より新たにバス停を追加している。1件のみではあるが、**自宅からバス停**という利用がみられた。

○保健センターには鮫川歯科医院、診療所の利用を含む。
 ○その他村内施設…各地区の集会所等や各理美容院等を含む。
 ○その他…高齢者住宅に居住してい

5 デマンド実証事業総括

- ・新規利用登録者について、1月は24人と直近では最も多い数字となっている。新規利用登録者の中には、**村外住所の若年層**があり、現在利用はしていないが、今後利用が見込まれる。
- ・利用登録者に対する実利用人数について、これまでより若干**数値が上がっている**。今後**50%以上**を目指し、利用へとつながる情報発信を行う。
- ・11月～1月の運行について、主に埴厚生病院への通院での利用であったが、**村内施設（手まめ館やさぎり荘、その他施設など）への利用も、過去と比較して増加**していた。今後、村内周遊率を高めるため、埴厚生病院への通院についてバス利用も促進していきたい。
- ・利用回数が多い利用者については、ほとんどが高齢者であるが、6～18歳の村内利用者で**17回利用**している方がいた。高齢者の利用は免許返納の促進等に繋がるが、若年層の利用も、保護者の負担軽減や移動手段の確保に繋がるため、**地域の足として浸透**してきている印象を受けている。
- ・利用時間帯から**同時帯の希望者が増えている**ことがわかる。乗務員からも、同時刻の予約が多く、**断ってしまう**ことも増えてきていると意見が上がっているため、他の公共交通機関の利用についても促進していく必要がある。
- ・一定期間運行してきているため、利用者や登録者について、**慣れ**が生じているとの意見があった。運行時間や状況に合わせた運行体制等、今まで以上に周知していく必要がある。
- ・村外利用登録者が増加しているため、利用方法等について、HP等を利用し、引き続き**情報発信を行う必要**がある。

6 共創・Maas 実証プロジェクト事業結果について

■事業実施期間：令和6年9月～令和7年2月

■タブレットによる利用者数

令和6年11月～令和7年2月まで：**0人**

令和7年1月21日 操作説明会実施@よろず案内／休憩所 参加者：**1人**
 ⇒まだ普及に時間を要するため、引き続き広報をしていく。

■AED利用件数：**0人**

■NORUCAカード利用者数：**2人**

■愛称募集：**167件**応募（小学生:102件、中学生:60件、一般:5件）

■チラシ配布：**2回**（令和6年12月・令和7年2月）

■社会福祉法人鮫川会たんぼぼの家との連携

- ・令和7年3月より慣らし運行とし、終了後の帰宅にデマンド交通の利用を検討する。4月より毎日運行とする。
- ・デマンド交通受託事業者及びたんぼぼの家との協議により、朝の利用は当面の間実施しないこととした。

■事業費内訳（単位：円）

業務名	業者名	業務内容	支出額	国庫補助金
実証運行業務	鮫川運送株式会社	デマンド交通運行委託業務一式	4,105,464	7,297,670
運行等支援業務	株式会社 ケー・シー・エス	デマンド交通運行支援及び効果測定、アンケート調査等	2,519,000	
車両等提供に係る運営業務	福島交通株式会社	車両リース料及びNORUCAシステム使用料	1,608,800	
AED	ALSOK 福島株式会社	AEDリース料	44,880	
広報	タカハシ印刷株式会社	デマンド交通チラシ作成 2回	126,720	
その他		消耗品費（コピー用紙、色上質紙、ラベルシール）	41,641	
システム構築業務	トヨタ・コニック・プロ株式会社	デマンド交通システム構築業務委託料及び設置端末料	2,402,950	補助対象外
車両等提供に係る運営業務	福島交通株式会社	NORUCAシステム使用料 (2月分のみ)	143,000 (収入差し引く)	
計			10,992,455	7,297,670

デマンド交通に関するアンケート調査

実施報告書(概要版)

鮫川村デマンド交通アンケート調査結果概要

■調査概要

1. 調査の実施方法

調査対象者	鮫川村デマンド交通の利用登録者及び非登録者
調査方法	直接配布、郵送回収（Web回答も可）
調査時期	令和6年12月13日（金）～令和6年12月25日（水）

2. 調査の実施結果

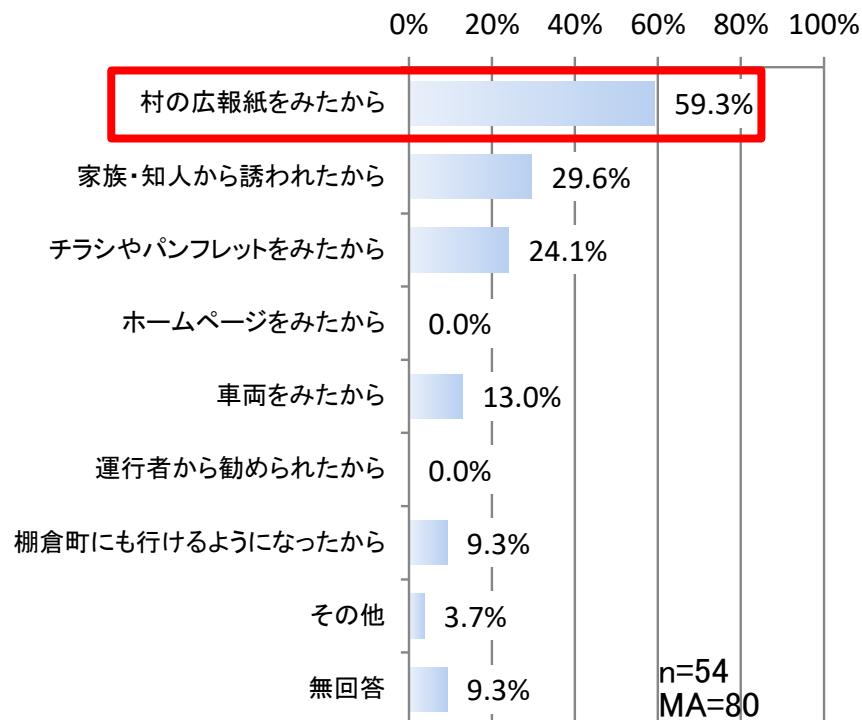
区分	回収数
鮫川村デマンド交通の利用登録者+利用者	54票
鮫川村デマンド交通の利用登録者+非利用者	32票
鮫川村デマンド交通の非利用登録者	336票

■結果概要

1. 鮫川村デマンド交通の利用者

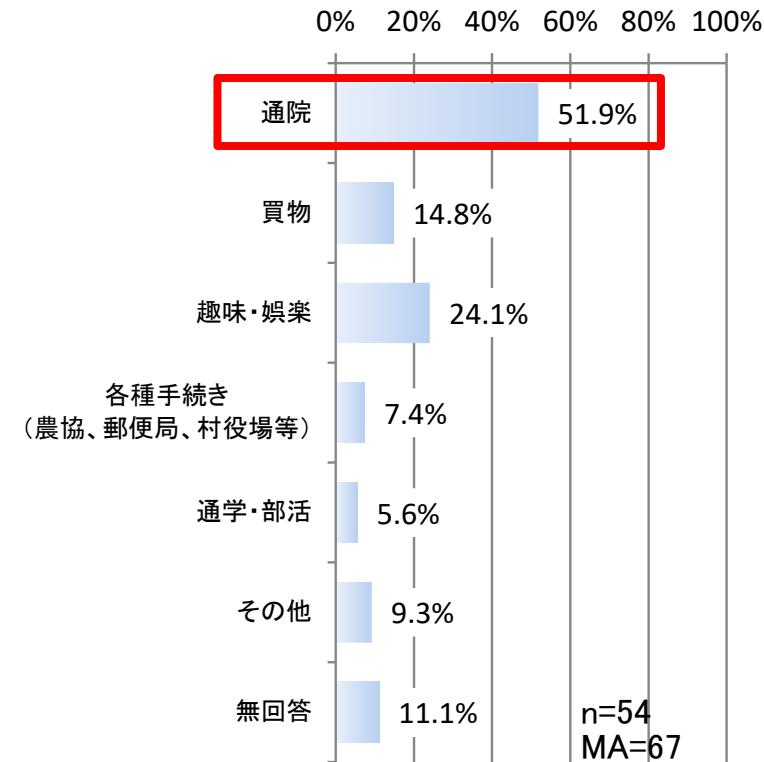
①利用登録のきっかけ

・利用登録のきっかけでは、「村の広報紙をみたから」が59.3%（32人）と最も高く、次いで「家族・知人から誘われたから」が29.6%（16人）と続いています。



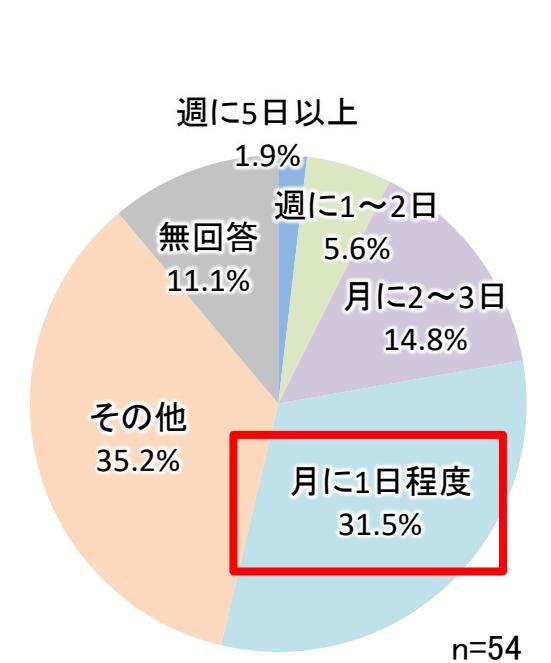
②利用目的

・利用目的では、「通院」が51.9%（28人）と最も高く、次いで「趣味・娯楽」が24.1%（13人）と続いています。



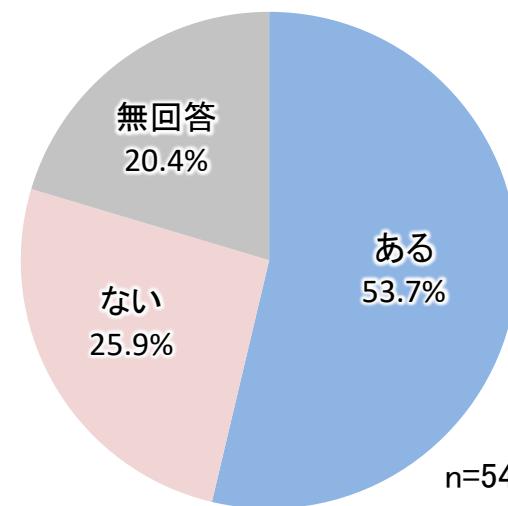
③利用頻度

・利用頻度では、「その他」が35.2%（19人）と最も高く、次いで「月に1日程度」が31.5%（17人）と続いています。



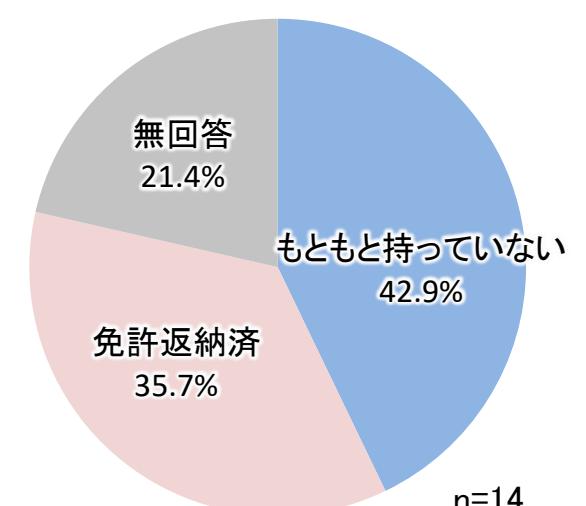
④運転免許保有の有無

・運転免許保有の有無では、「ある」が53.7%（29人）と最も高く、次いで「ない」が25.9%（14人）と続いています。

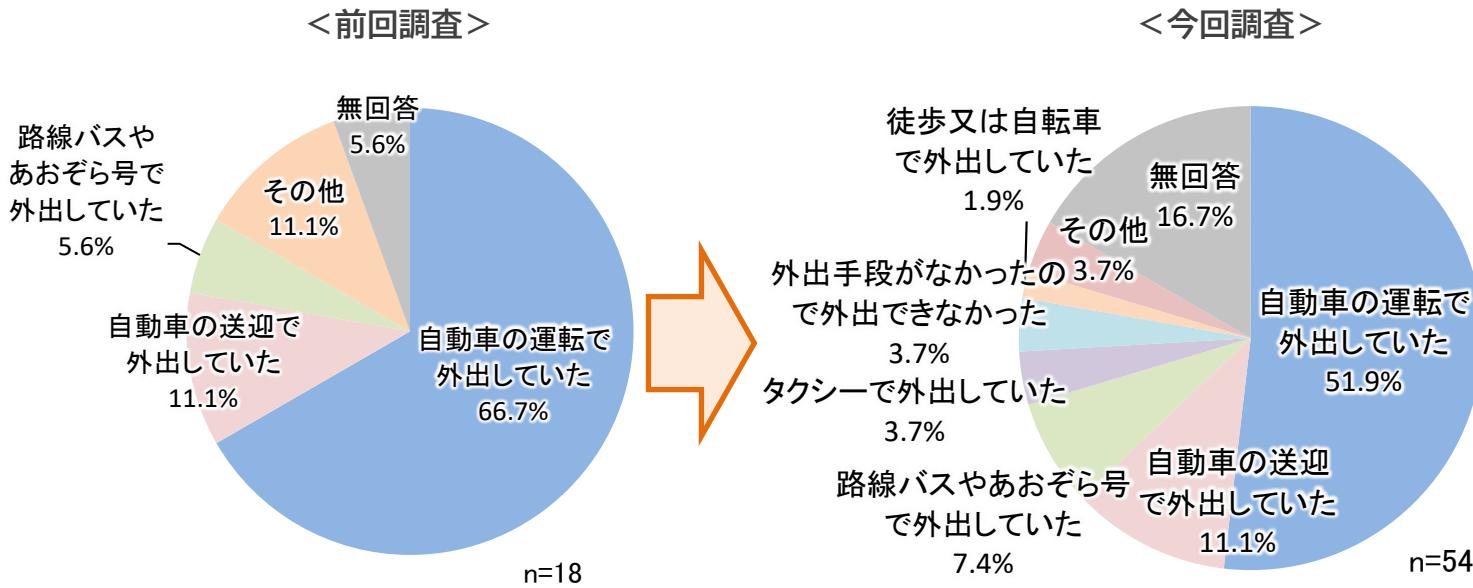


⑤運転免許非保有者の状況

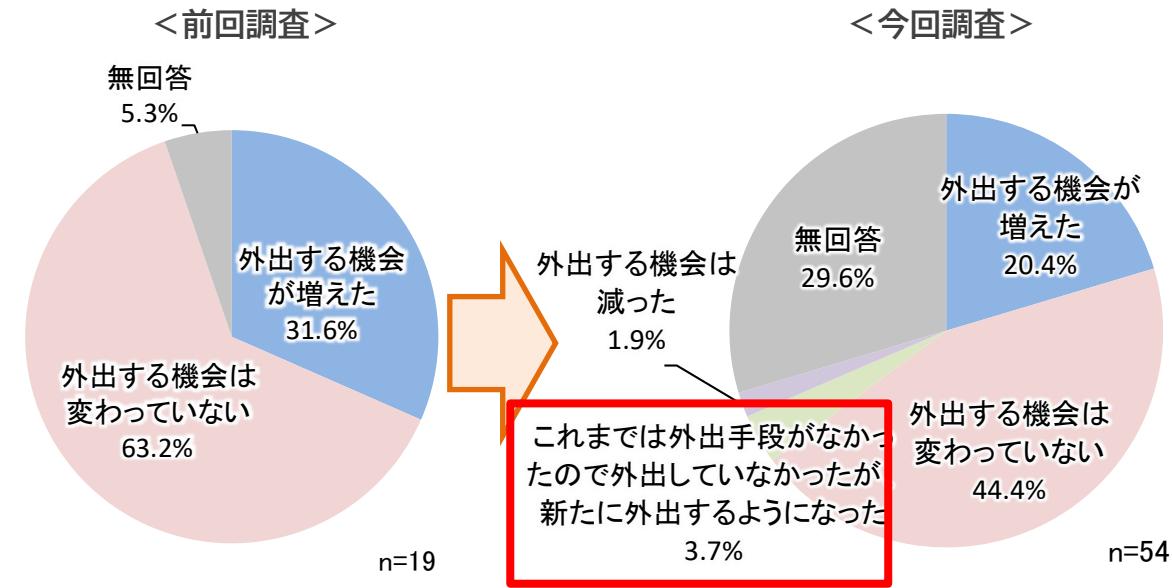
・運転免許非保有者の状況では、「もともと持っていない」が42.9%（6人）と最も高く、次いで「免許返納済」が35.7%（5人）と続いています。



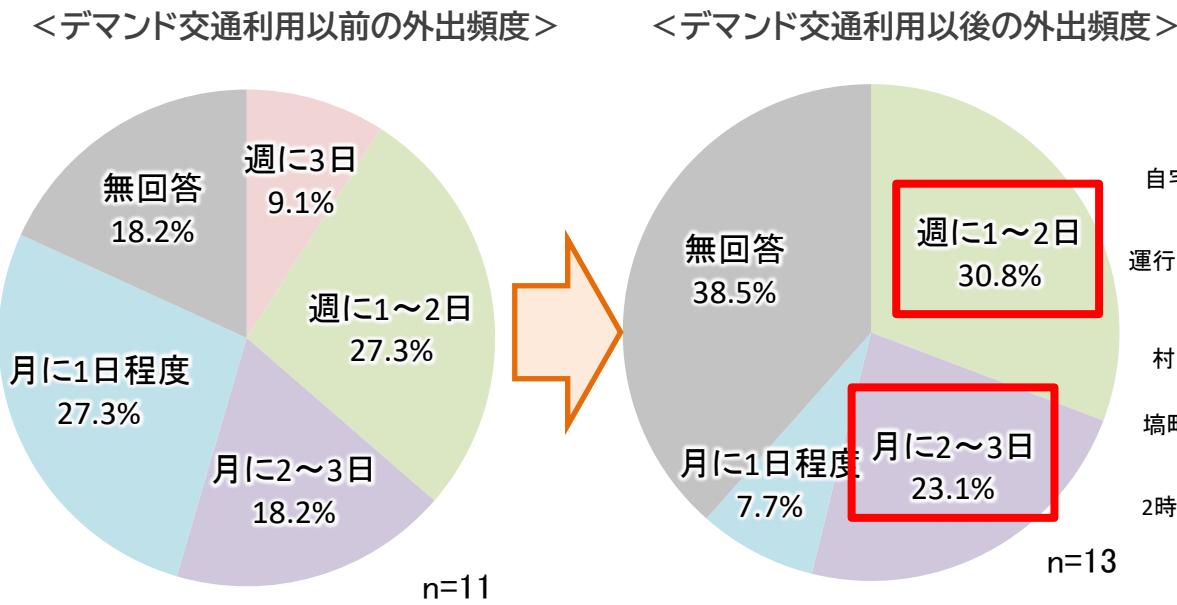
⑥ デマンド交通運行開始以前の外出手段



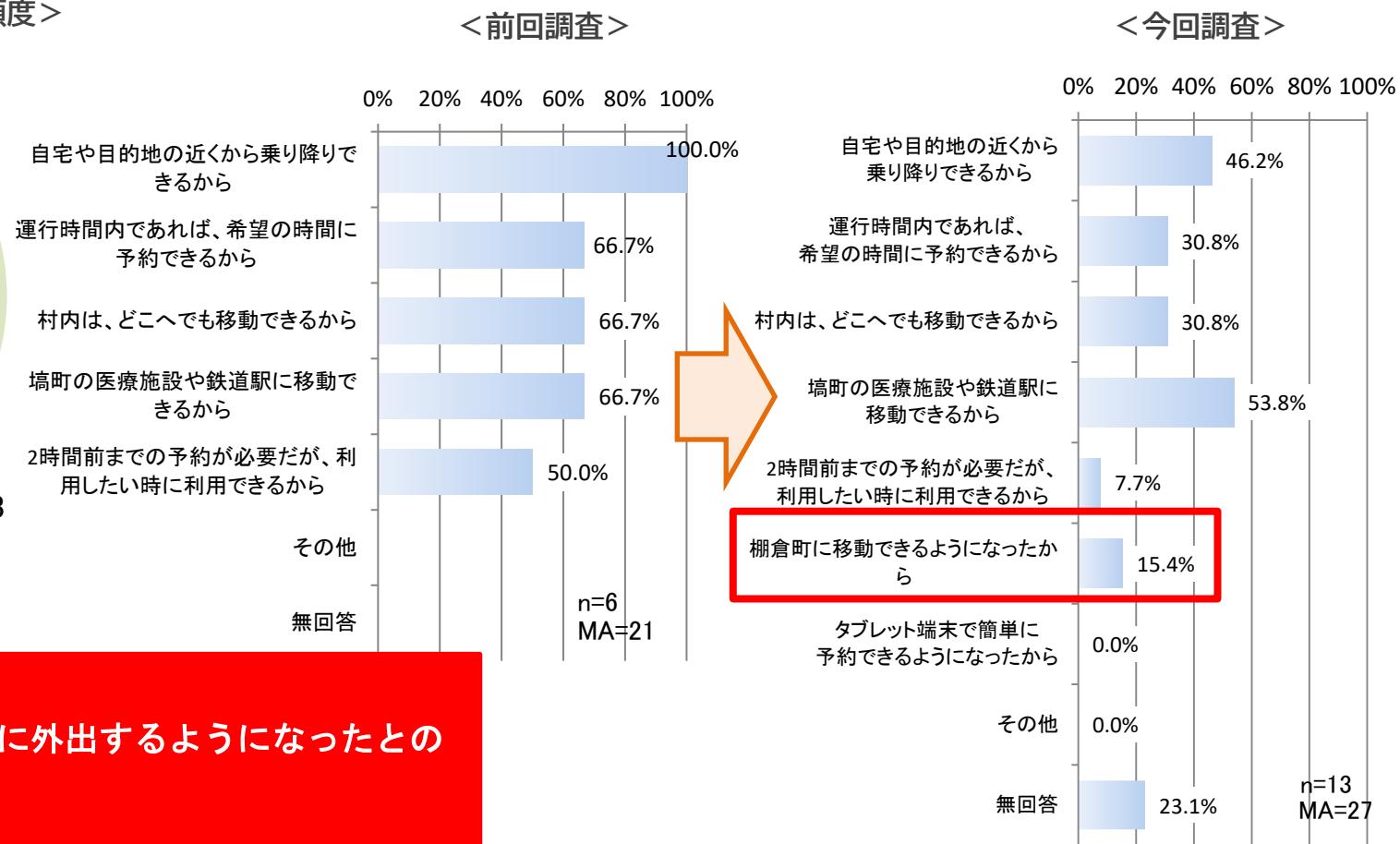
⑦ デマンド交通運行開始以前の外出手段



⑧ デマンド交通の利用前後の外出頻度の変化



⑨ 外出機会が増加した理由、もしくは新たに外出するようになった理由



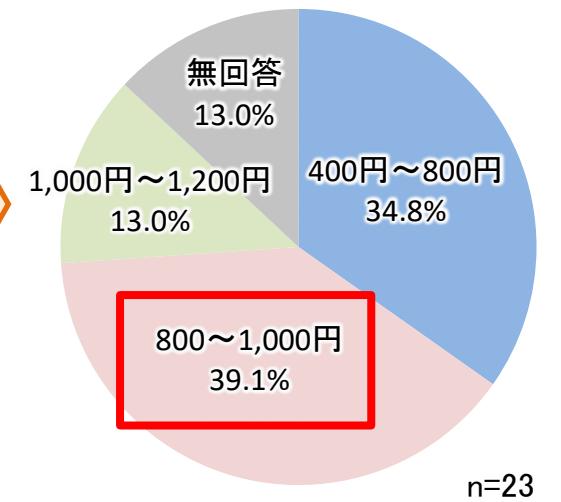
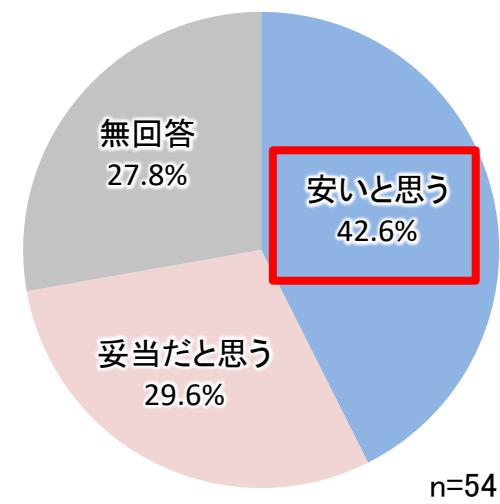
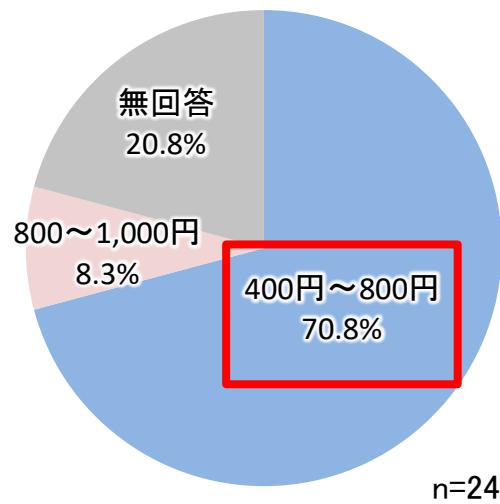
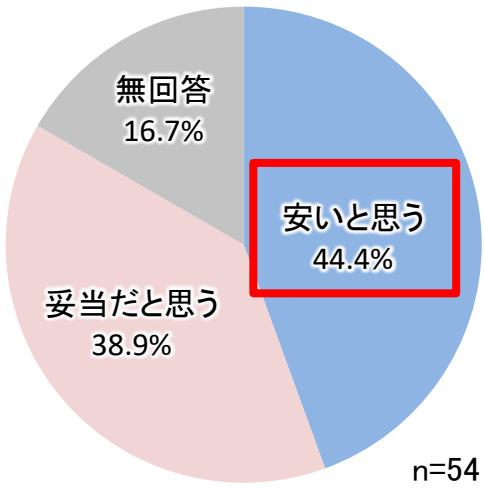
<外出手段の変化>
 ・ これまでは外出手段がなかったのに外出しなくなったが、新たに外出するようになったとの回答が見られます。

<外出頻度の変化>
 ・ デマンド交通利用以前と以後の外出頻度を比較すると、週1~2日、月に2~3日の割合が増えています。

<外出機会が増加した理由、もしくは新たに外出するようになった理由>
 ・ 埴倉町に移動できるようになったからとの回答が見られます。

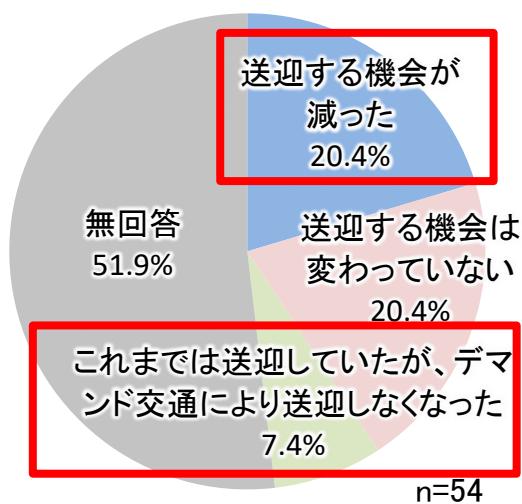
⑩村内運行の料金

⑪村外運行の料金

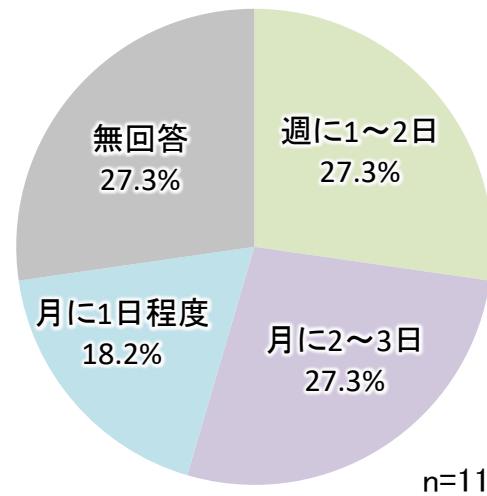


⑫デマンド交通利用による家族の送迎頻度の変化(ご家族が回答)

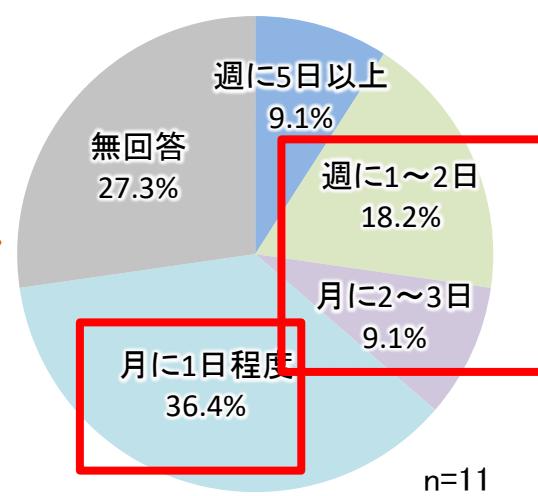
<送迎頻度の変化>



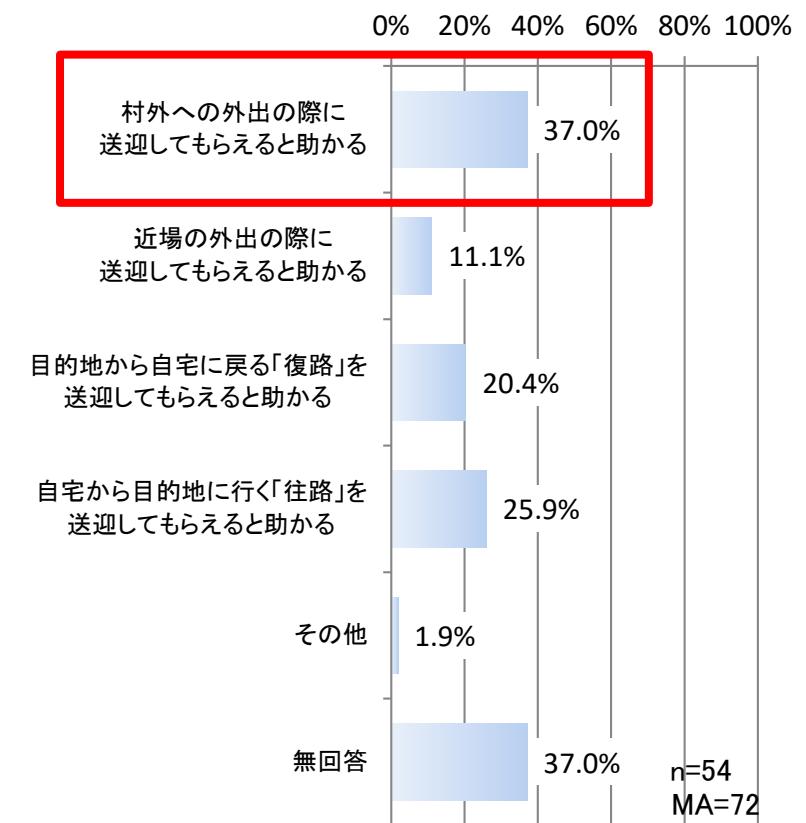
<デマンド交通利用以前の送迎頻度>



<デマンド交通利用以後の送迎頻度>



<デマンド交通利用による送迎負担が緩和される方法>



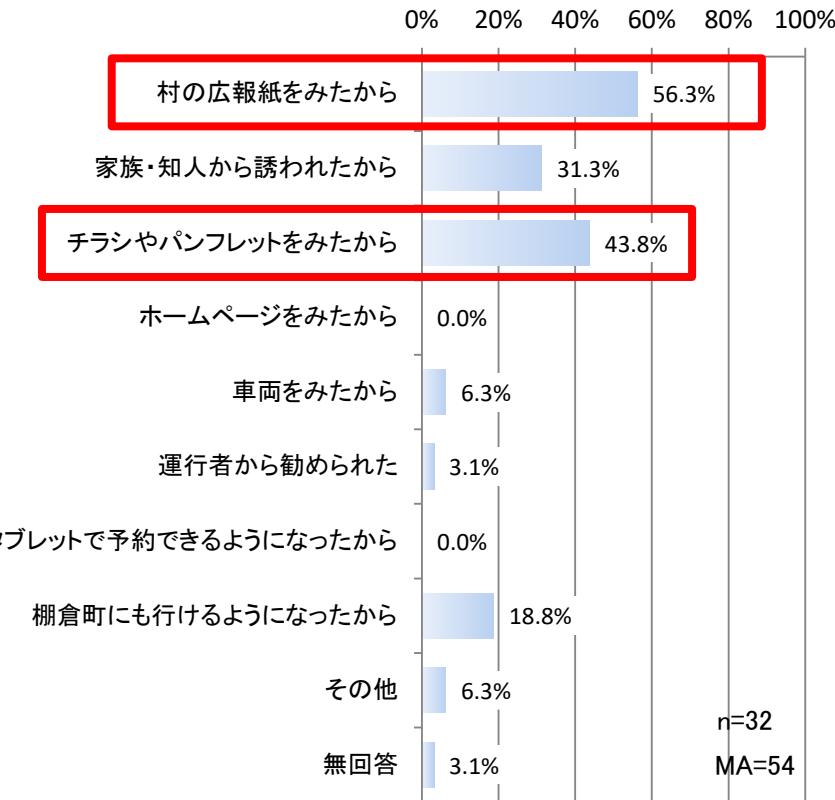
<村内運行及び村外運行の料金>
 ・利用者は、現在の運賃を安いと認識しており、村内運賃については、400～800円が適正であると認識している割合が高い状況です。村外運賃については、800～1,000円が適正であると認識している割合が高い状況です。

<送迎頻度の変化>
 ・デマンド交通利用以前と以後の送迎頻度を比較すると、週1～2日、月に2～3日の割合が減少して、月に1日程度の割合が増加しています。

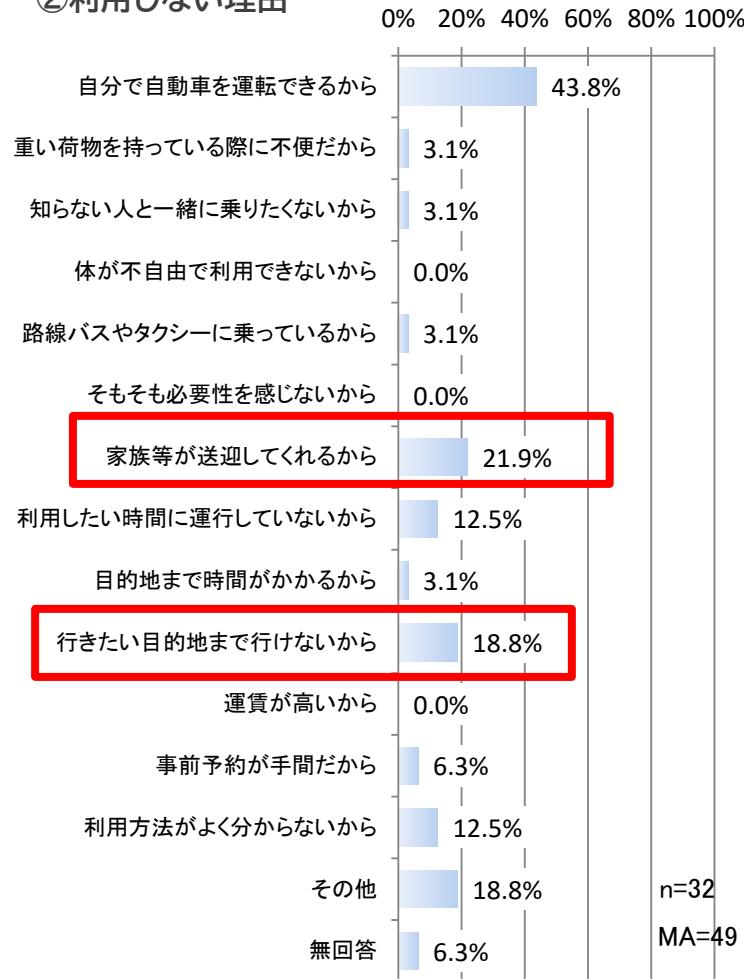
・送迎負担が更に緩和される方法として、村外への外出送迎を希望する割合が高い状況です。

2. 鮫川村デマンド交通の利用登録者+非利用者

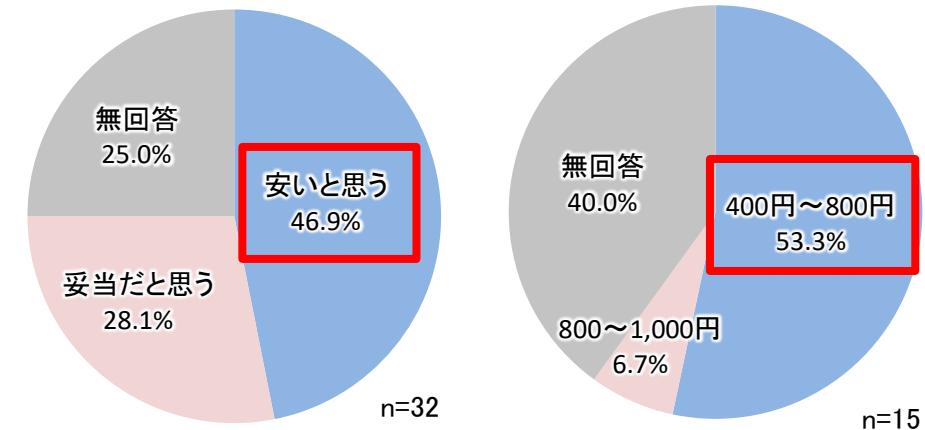
①利用登録のきっかけ



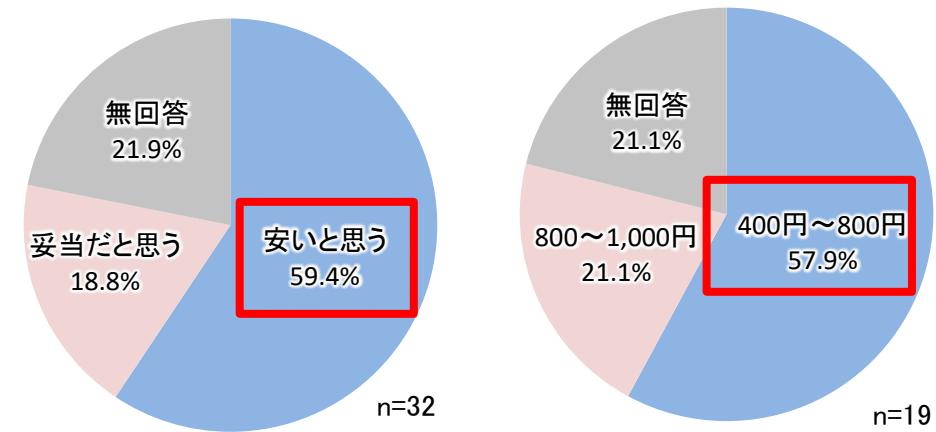
②利用しない理由



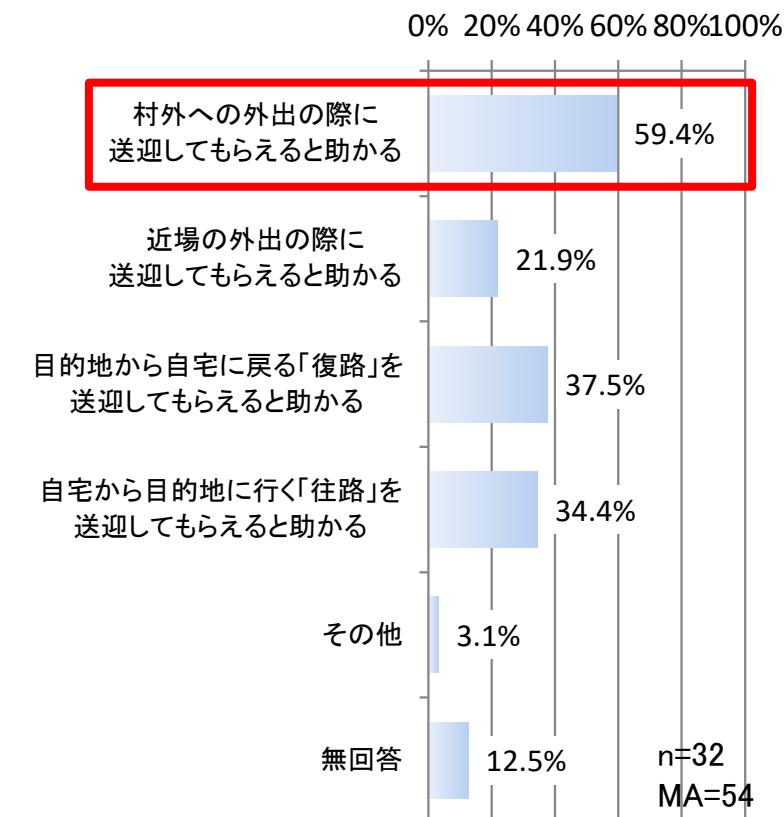
③村内運行の料金



④村外運行の料金



⑤デマンド交通利用による送迎負担が緩和される方法



<利用登録のきっかけ>

・ 広報紙、チラシ・パンフレットなど紙媒体の割合が高い状況です。

<デマンド交通を利用しない理由>

・ 自分で自動車を運転できるからという理由以外を見ると、家族等が送迎してしてくれるから、行きたい目的地まで行けないからという回答が多い状況です。

<村内運行及び村外運行の料金>

・ 利用者は、現在の運賃を安いと認識しており、村内運賃については、400～800円が適正であると認識している割合が高い状況です。村外運賃については、400～800円が適正であると認識している割合が高い状況です。利用者と比較すると、村外運賃が低くなっています。

<送迎負担が更に緩和される方法>

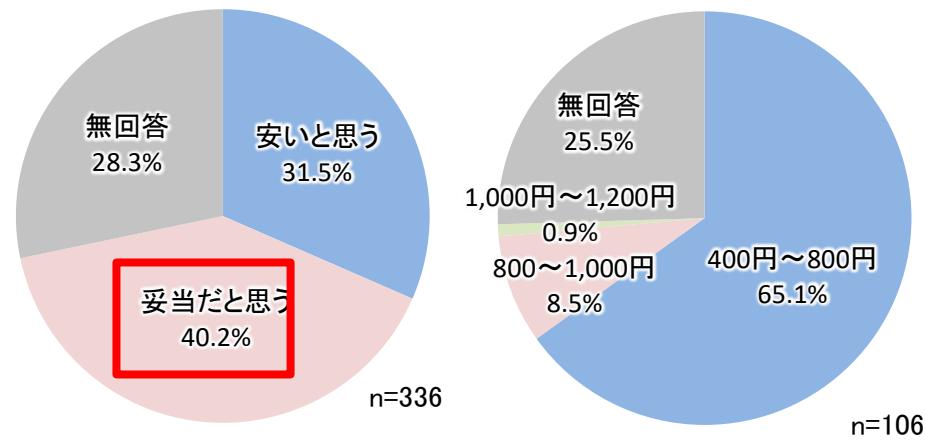
・ 村外への外出送迎を希望する割合が高い状況です。

3. 鮫川村デマンド交通の非登録者

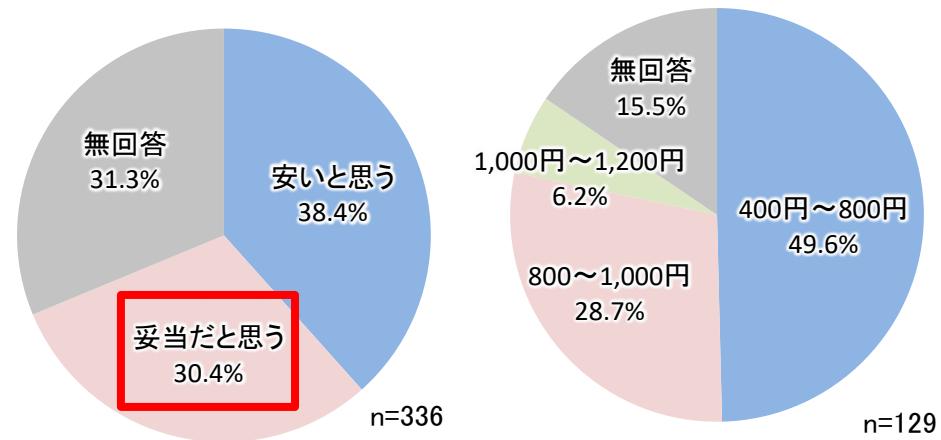
①利用登録しない理由



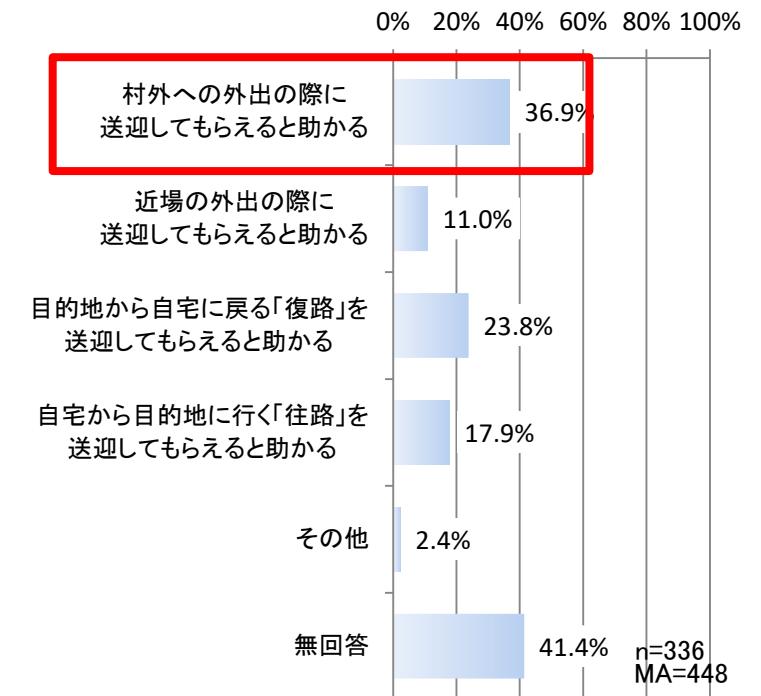
②村内運行の料金



③村外運行の料金



④デマンド交通利用による送迎負担が緩和される方法



<利用登録しない理由>

- ・ 自分で自動車を運転できるからという理由以外を見ると、行きたい目的地まで行けないから、事前予約が手間だからという回答が多い状況です。

<村内運行及び村外運行の料金>

- ・ 利用者は、現在の運賃を妥当と認識しており、利用者や利用登録者＋非利用者と比較すると、その割合が高くなっています。

<送迎負担が更に緩和される方法>

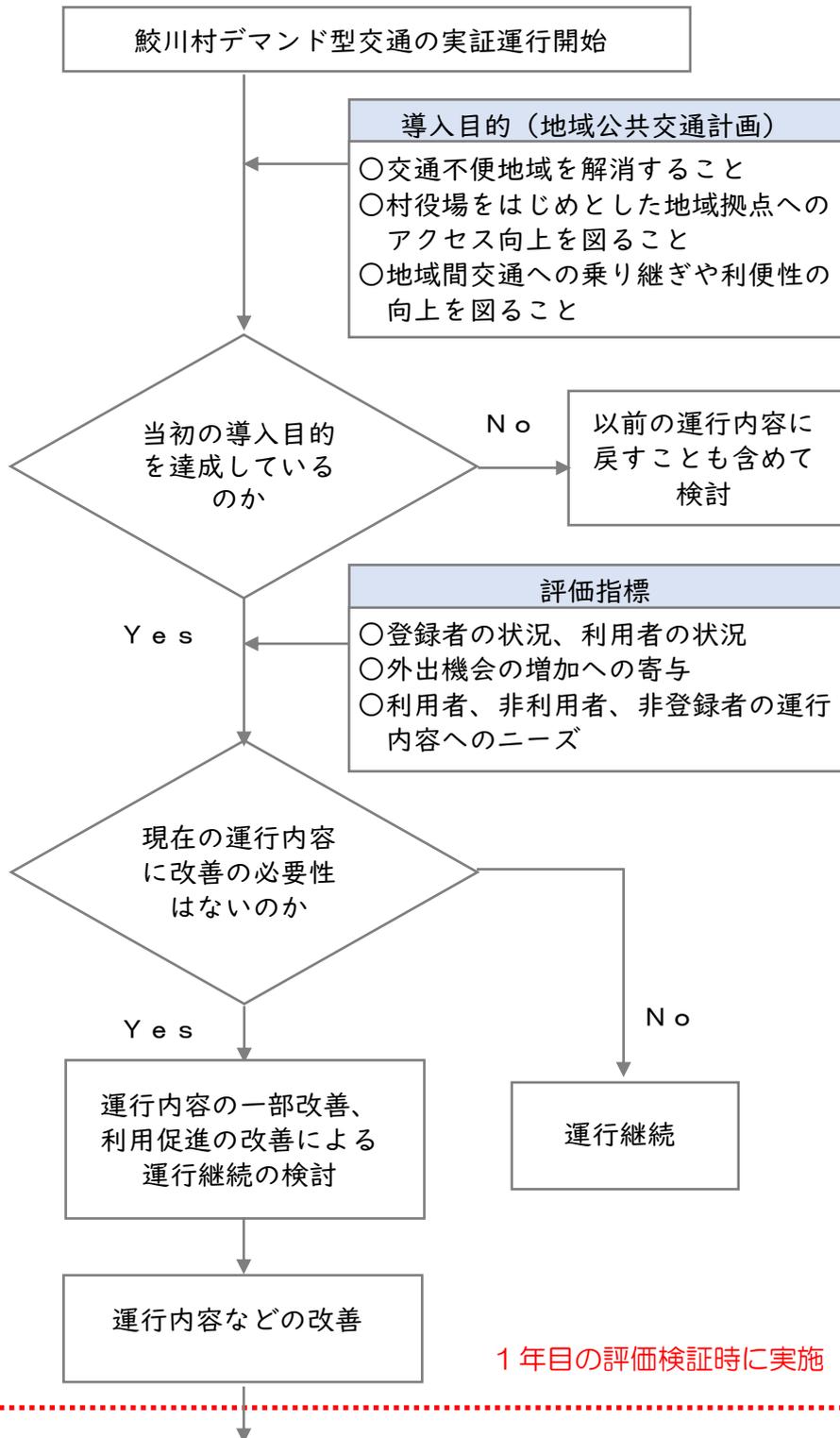
- ・ 村外への外出送迎を希望する割合が高い状況です。

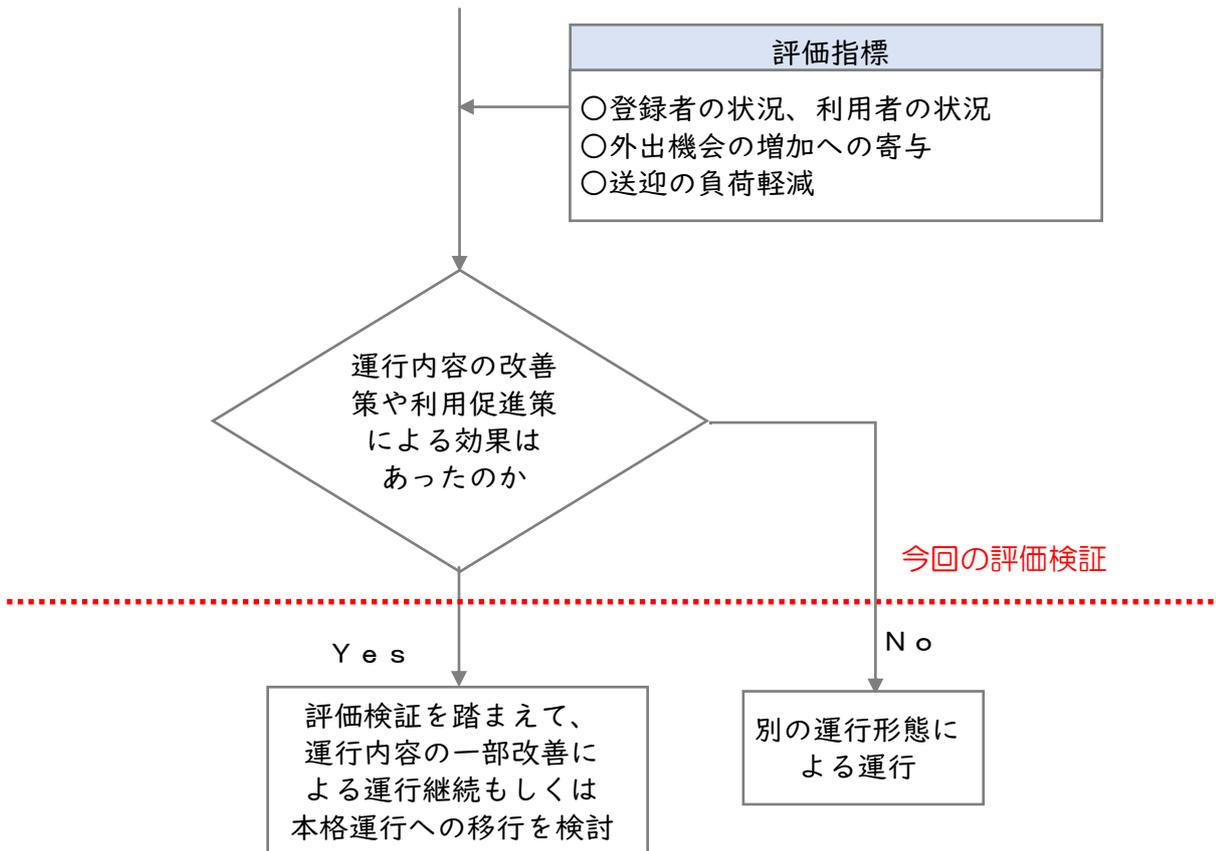
鮫川村デマンド交通の評価検証

■ 評価検証の考え方

○ フロー

- ・ 評価検証は、利用実績やアンケート調査に基づき、評価指標をもとに検証した。
- ・ 現在の運行を継続するのか、運行内容を変更するのか、以下のフローで検証した。





■現在の運行内容に改善の必要性はないのか

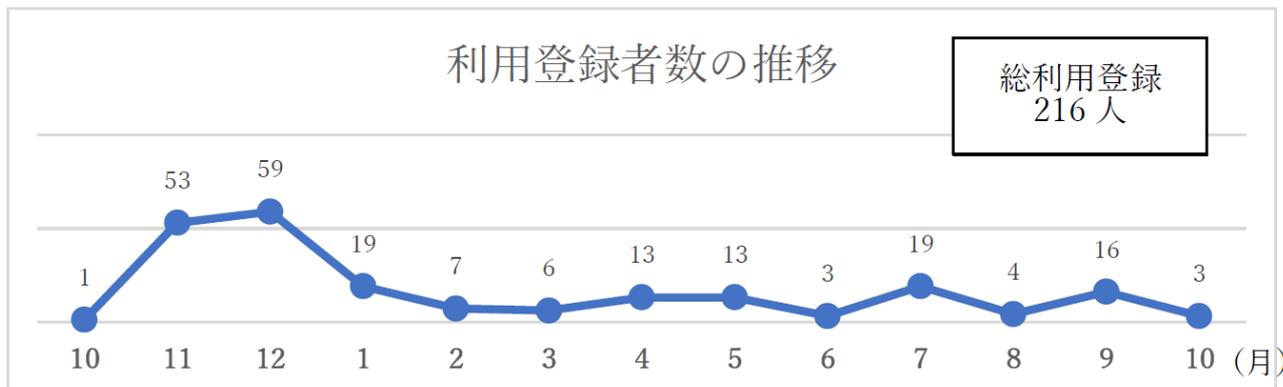
<登録者の状況、利用者の状況>

登録者の多くは村内の70歳以上の高齢者、村内及び村外の障がい者となっており、利用状況を見ると、1ヶ月あたりの利用回数が100回以上、実利用人数50人以上の月も見られて、利用者数は増加傾向となっている。

利用者の特性を見ると、埴構成病院への通院目的、すまいるへの買物目的、さぎり荘への趣味・娯楽、障がい者のひだまり荘への移動を支えている。

デマンド交通の運行前は、自動車の運転や送迎での外出が多く、自動車からの交通手段の転換に寄与している。

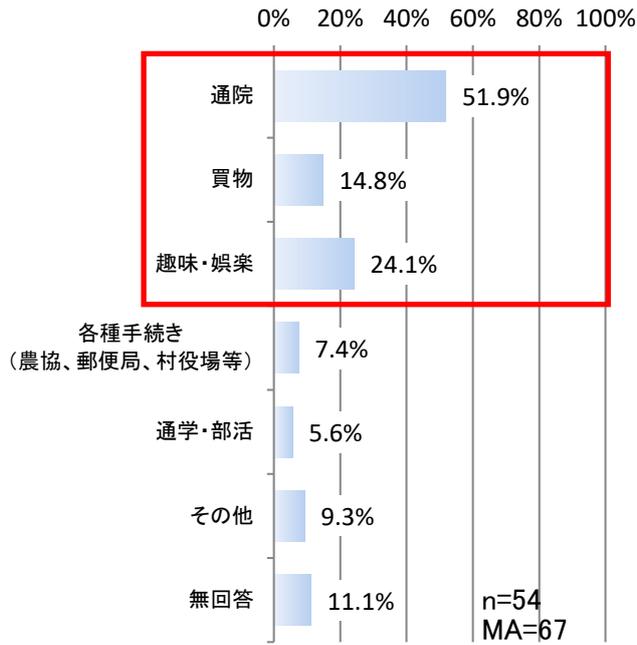
■利用登録者数の推移 (R5.11.14~R6.10.31)



村内		村外	
6~18歳	20%	6~18歳	0%
19~69歳	2%	19~69歳	1%
70歳以上	57%	70歳以上	0%
障がい者	8%	障がい者	11%

■運行状況及び乗車人員の推移 (R5.11.14~R6.10.31)

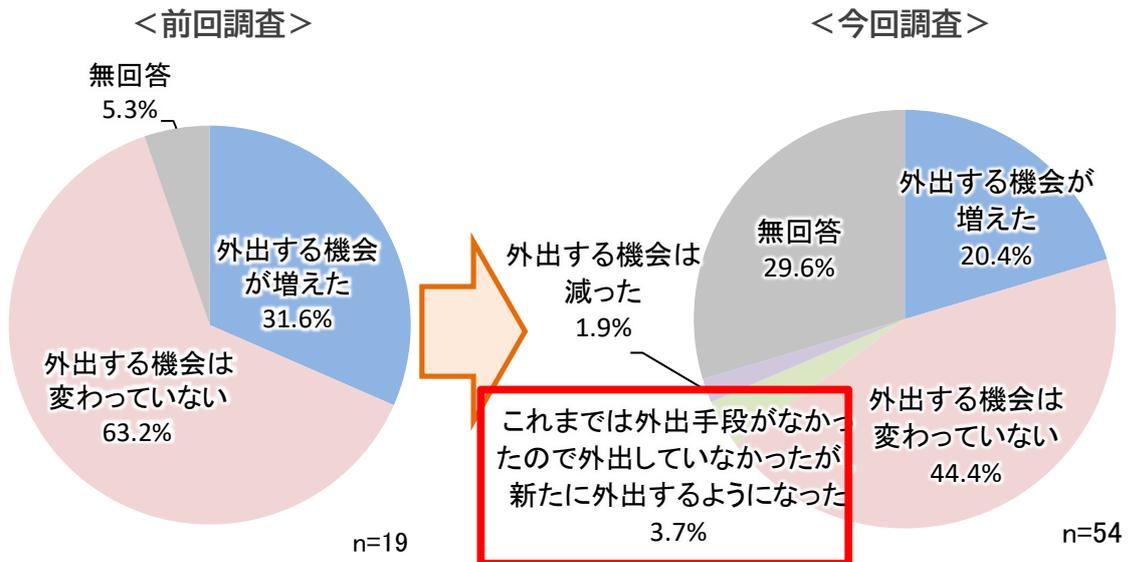
	利用回数	実利用人数
R5.11月	37回	36人
12月	62回	61人
R6.1月	87回	80人
2月	52回	30人
3月	57回	33人
4月	67回	39人
5月	82回	45人
6月	71回	39人
7月	101回	58人
8月	77回	49人
9月	50回	31人
10月	74回	40人
合計	817回	541人



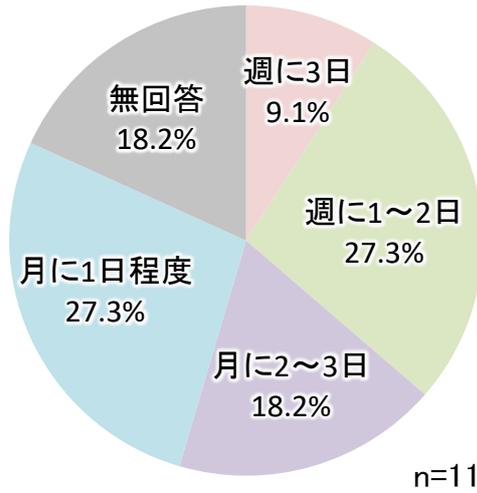
<外出機会の増加への寄与>

外出機会の増加について、引き続き、寄与しており、週に1~2日や月に2~3日の外出割合が増加している。また、新たな外出の創出に寄与している。

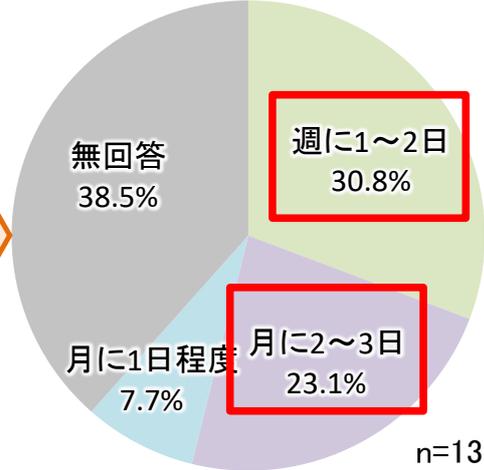
外出機会の増加については、棚倉町への乗り入れも影響していることがわかる。



<デマンド交通利用以前の外出頻度>

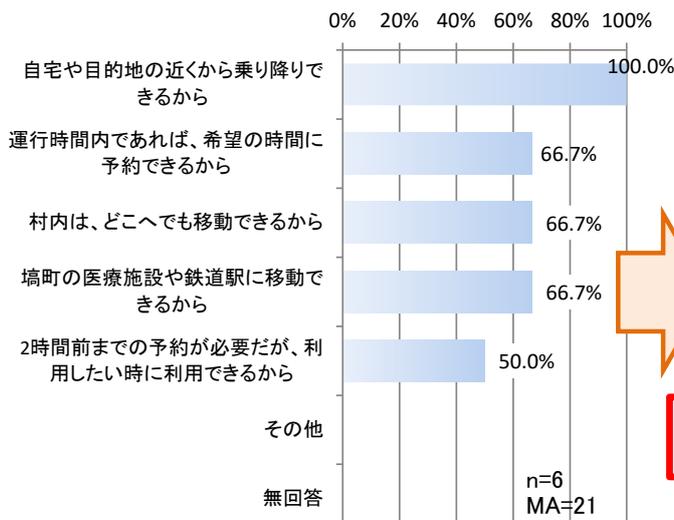


<デマンド交通利用以後の外出頻度>

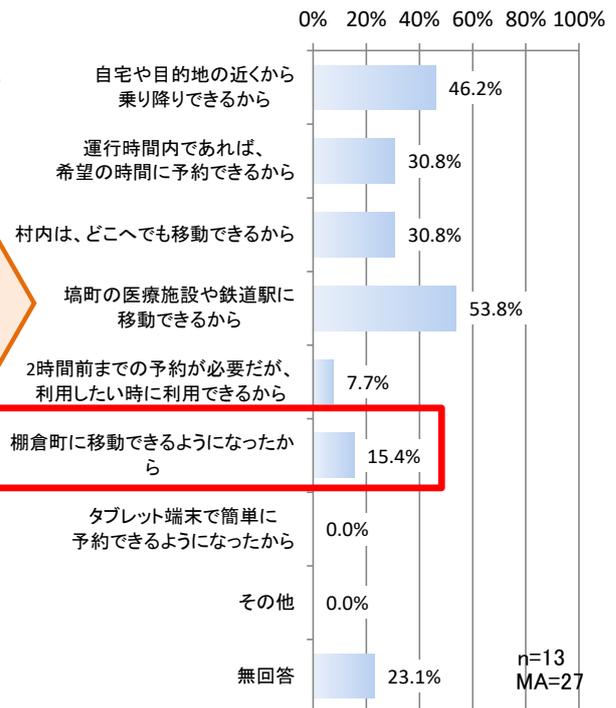


● 外出機会が増加した理由もしくは新たに外出するようになった理由

<前回調査>



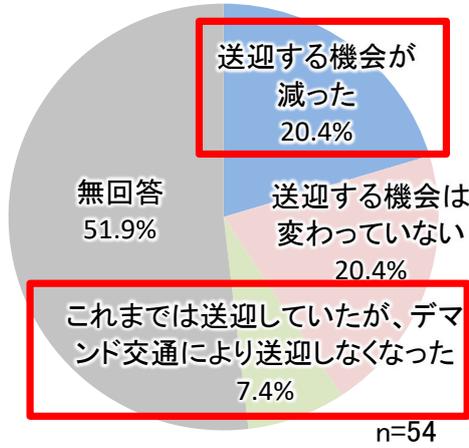
<今回調査>



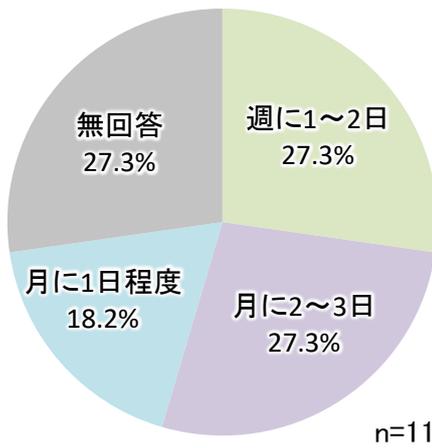
<送迎の負荷軽減>

デマンド交通を運行することで、ご家族が送迎する機会が減少している。村外への外出を支援してほしいとのニーズも見られる。

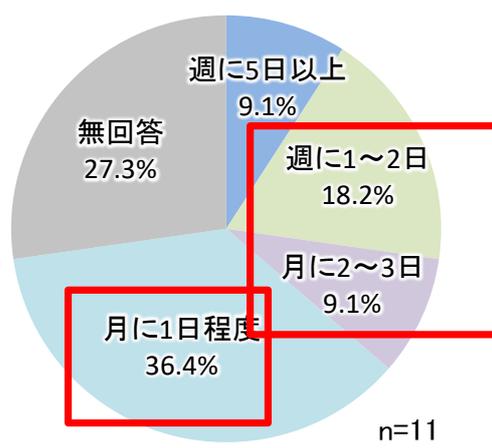
<送迎頻度の変化>



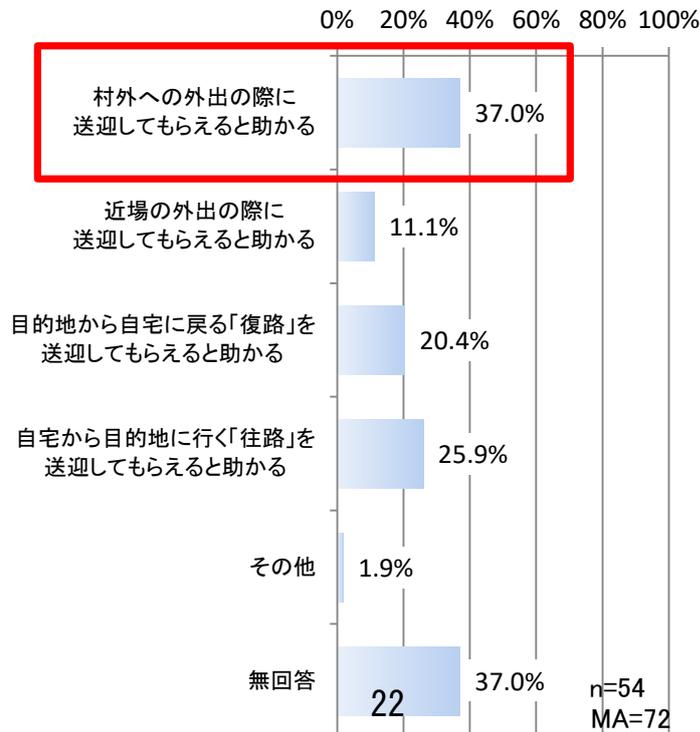
<デマンド交通利用以前の送迎頻度>



<デマンド交通利用以後の送迎頻度>



<デマンド交通利用による送迎負担が緩和される方法>



・フローに沿った評価検証の結果は以下のとおりとなる。

■ 1年目の評価検証

- ・ 鮫川村デマンド交通の運行により、交通不便地域の解消、村内の地域拠点へのアクセス向上、地域間交通への乗り継ぎや利便性の向上が図られている。
- ・ 利用登録者は増加傾向にあり、利用者数も徐々に増加している状況にある。



持続可能な移動手段の確保及び利便性向上に向けて、
運行内容の改善及び利用促進の改善による運行継続

■ 運行内容改善の施策（令和6年9月から令和7年2月まで）

- トヨタ・コニック・ライドの導入（R6.11.13～）
 - ・ 高齢者や障がい者でも利用しやすい予約システムの導入。
- 棚倉町への乗り入れ（R6.12～）
 - ・ 村外への移動先として、ニーズが高かった棚倉町への乗り入れを開始。

■ 利用促進策の展開

- 周知 PR の推進
 - ・ 昨年の調査において、非利用者、非登録者において、運行していること、誰でも利用できること、利用方法がよくわからないなど、周知 PR の必要性も示していた。広報紙やチラシ・パンフレットなどにより、運行内容の周知 PR を推進。



■ 2年目の評価検証

- ・ 引き続き、利用者数は増加傾向にある。
- ・ 外出機会の増加に寄与しており、一部、新たな外出の創出にもつながっている。
- ・ ご家族の送迎の負荷軽減にもつながっており、送迎機会が減少している傾向も見られる。



更なる運行内容の改善による運行継続

■ 持続可能な運行に向けた展開

- 国及び県の補助事業の活用
 - ・ 地域内フィーダー系統など、継続的に活用できる補助事業をデマンド交通に適用することで、持続可能な交通としていく。
- 鮫川村公共交通の一体的な再編
 - ・ あおぞら号の再編、福島交通の路線バスの再編など、鮫川村全体の公共交通ネットワークの再編を検討する。

■ 鮫川村公共交通に関するロードマップ（案）

実施内容	令和5年度				令和6年度				令和7年度				令和8年度			
	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
	～ 6	～ 9	～ 12	～ 3												
■ デマンド交通の実証運行																
● 第1次実証運行の実施期間（R5.11.14～R6.3.31）			—													
● 第2次実証運行の実施期間（R6.4.1～R6.8.31）				—												
● 共創MaaS実証プロジェクトによる運行（R6.9.1～R7.2.28） ※トヨタ・コニック・ライドの導入：R6.11.13～ ※棚倉町への乗り入れ：R6.12～ ※利用実績データ及びアンケートによる評価検証：R7.2～							—									
● 第3次実証運行の実施運行予定（R7.3.1～）								⋯	⋯	⋯	⋯	⋯	⋯	⋯	⋯	⋯
■ 鮫川村全体の地域公共交通の再編に向けた対応																
● 村営バス「あおぞら号」の再編 ※福島交通株式会社への運行委託									—	—	—	—	—	—	—	—
● 福島交通バスの再編（予定） ※石川線「宝木経由鮫川線」の廃止予定（R7.9.31まで）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
● 鮫川村全体の公共交通ネットワークの再編検討 ※地域内フィーダーシステムの活用、再編スケジュールなど ※生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダーシステム確保維持計画）								—	—	—						
● 段階的な公共交通の再編開始												—	—	—	—	—
● 公共交通再編後の評価検証及び運行内容の見直し												—	—	—	—	—
■ 鮫川村地域公共交通計画の改訂に向けた対応								—								

令和6年度鮫川村地域公共交通協議会収支決算の見込について

収入総額 3,713,648円
 支出総額 3,458,134円
 差引残額 255,514円

1 収入の部

単位：円

款	項	目	当初予算額	補正額	現予算額	決算額（見込）	収入欠損額	説明
1 分担金及び負担金	1 負担金	1 負担金	2,768,000	△2,519,000	249,000	249,000	0	運行主体の変更による減額
2 国及び県補助金	1 国及び県補助金	1 国及び県補助金	3,229,735	0	3,229,735	3,229,735	0	県補助金
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	234,730	0	234,730	234,730	0	
4 諸収入	1 雑入	1 雑入	35	148	183	183	0	預金利子
計			6,232,500	△2,518,852	3,713,648	3,713,648	0	

2 支出の部

単位：円

款	項	目	当初予算額	補正予算額	現予算額	決算額（見込）	残額	説明
1 総務費	1 総務管理費	1 会議費	195,000	0	195,000	153,000	42,000	委員謝金 3,000円×51人=153,000円
		2 事務費	188,765	0	188,765	75,399	113,366	色上質紙（A4）×9㍻=23,017円 コピー用紙（A4）×5箱=31,075円 ラベルシール×3袋=11,352円 マルチコピー用紙（A4）×5冊=3,377円 コピー用紙（A3）×1箱=6,578円
2 事業費	1 事業費	1 事業費	2,519,000	△2,519,000	0	0	0	
3 償還金	1 償還金	1 償還金	3,229,735	0	3,229,735	3,229,735	0	※1の国県補助金
4 予備費	1 予備費	1 予備費	100,000	148	100,148	0	100,148	
計			6,232,500	△2,518,852	3,713,648	3,458,134	255,514	

令和7年度鮫川村地域公共交通協議会事業計画書（案）

日 程	事業内容	備 考
令和7年4月	第1回地域公共交通協議会 デマンド交通実証運行の評価検証について 事業計画並びに予算について	
8月	第2回地域公共交通協議会 デマンド交通実証事業の進捗状況および 本格運行について	
12月	第3回地域公共交通協議会 デマンド交通本格運行の進捗状況について	
令和8年2月	第4回地域公共交通協議会 次年度事業計画並びに予算について	

令和7年度鮫川村地域公共交通協議会収支予算（案）

収入総額 572,460円
 支出総額 572,460円
 差引残額 0円

1 収入の部

単位：円

款	項	目	予算額	説明
1 分担金 及び負担金	1 負担金	1 負担金	300,000	村負担金 300,000円
2 国及び県 補助金	1 国及び県 補助金	1 国及び県 補助金	0	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	272,460	前年度繰越金 272,460円
4 諸収入	2 雑入	1 雑入	0	
計			572,460	

2 支出の部

単位：円

款	項	目	予算額	説明
1 総務費	1 総務管理費	1 会議費	210,000	委員謝金 3,000円×14人×5回=210,000円
		2 事務費	73,861	コピー用紙 2,310円×3箱=6,930円 ラベルシール 3,047円×4袋=12,188円 フラットファイル 68円×30冊=2,040円 ラミネートフィルム 1,093円×1箱=1,093円 プリンタトナーカートリッジ 30,910円×1本=30,910円 公共交通会議委員発出文書郵送料 23人×5回×180円=20,700円
2 事業費	1 事業費	1 事業費	0	
3 償還金	1 償還金	1 償還金	272,460	
4 予備費	1 予備費	1 予備費	16,139	
計			572,460	